

宜野湾市地域公共交通計画 施策概要（案）

※「実施主体」「市担当課」：現段階での想定であり、今後、関係機関・関係課と調整した上で整理する予定です

目標① 公共交通サービスの充実を図る

施策	概要	実施主体	市担当課	実施内容
1.路線バスサービスの充実				
西普天間住宅地区で新たに発生する交通需要や、ニーズの高い市内東西間の移動需要に対して、路線の新設や改良を検討する。				
	1-1.西普天間住宅地区路線バス新設検討	琉球大学、沖縄県、宜野湾市、バス事業者	都市計画課	検討、実証運行
	1-2.東西方向路線の利便増進検討	宜野湾市、バス事業者	都市計画課	検討、実証運行
	1-3.基幹バスシステム構築の推進	沖縄県、宜野湾市、那覇市、浦添市、北中城村、沖縄市、バス事業者	都市計画課	推進
2.コミュニティ交通※の導入				
タクシーの利活用を促進するとともに、路線バスを補完し、地域のニーズ（高齢者の移動等）に応じた柔軟な交通サービスの導入を検討する。				
	2-1.タクシーの利活用施策の検討	宜野湾市、タクシー事業者	都市計画課、介護長寿課、生活安全課	検討、実施
	2-2.新たな移動サービスの導入検討	宜野湾市、バス事業者	都市計画課、介護長寿課、生活安全課	検討
3.パーソナルモビリティの導入				
バス停まで（から）の移動などの短距離移動を担い、徒歩と自動車・バイクの間を補完する交通サービスの拡充を支援する。				
	3-1.シェアサイクルの推進支援	宜野湾市、事業者	都市計画課、産業政策課	検討、実施
	3-2.各種シェアリングサービスの推進支援（キックボード等）	宜野湾市、事業者	都市計画課	検討、実施
4.ビッグデータ活用による交通マネジメント				
交通関連の各種データを連携させたプラットフォームを構築し、交通渋滞の分析、対策の検討、効果のモニタリング等を行う。				
	4-1.交通渋滞解消・公共交通利用増・移動利便性向上マネジメント	宜野湾市、バス事業者	都市計画課	検討、実施
5.多様な交通サービス等との連携				
市域をまたぐ移動に対応した交通体系の構築、地域の旅客輸送サービスと連携した交通体系の構築に向けて、各関係機関と協議・連携を図る。				
	5-1.周辺市町村との交通サービス等の連携検討	宜野湾市、浦添市、北谷町、北中城村、中城村、西原町	都市計画課	検討

※コミュニティ交通： 既存の路線バスでは対応できないきめ細やかなニーズに対応し、地域（地域組織）・運行事業者・市がそれぞれの役割及び責務に基づき、互いに連携、協力しながら運行する交通サービス

目標② 公共交通で移動できる環境を整える

施策	概要	実施主体	市担当課	実施内容
6.交通結節点の整備・機能強化				
	持続可能でシームレス※な公共交通ネットワークの要所となる地域拠点、交通拠点について、待合環境の充実、他交通モードとの乗継環境の充実、交通情報や周辺エリア情報を含む情報案内の充実など、機能強化を図る。			
	6-1.地域拠点の整備、交通拠点の機能強化	宜野湾市、沖縄県、琉球大学、交通事業者、道路管理者	都市計画課、基地跡地推進課	検討、実施
7.安心・安全な利用環境の整備				
	誰もが利用しやすい公共交通体系に向けて、バス停の利便性向上（上屋整備やベンチの設置）、バス停までのアクセス環境の改善を図る。			
	7-1.バス停における上屋整備やベンチの等設置等検討	道路管理者	都市計画課	検討
	7-2.地域内の歩行空間の安全性向上検討（道路行政と連携）	宜野湾市、道路管理者	道路整備課	検討
8.公共交通関連の情報発信の充実				
	公共交通への関心喚起や利用環境のさらなる充実に向けて、運行情報や関連情報などの情報発信を強化する。			
	8-1.提供されている情報の周知（サービス水準、バスロケ※）	宜野湾市、バス事業者	都市計画課	検討、実施
9.乗継利用や周遊をしやすい仕組みの充実				
	路線の乗継や他交通モード間の乗継、公共交通を利用した周遊などの利便性の向上に向けて、複数の交通サービスの一元的な検索ツールの普及や、運賃施策や企画乗車券等の導入を検討する。			
	9-1.MaaS※等の普及の検討	宜野湾市、沖縄県、交通事業者、民間事業者	都市計画課、観光スポーツ課	検討
	9-2.観光等と連携した公共交通の利用促進検討	宜野湾市、交通事業者、民間事業者	都市計画課、観光スポーツ課、産業政策課	検討

※シームレス：「継ぎ目のない」という意味で、転じて複数のサービス間のバリアを取り除き、容易に複数のサービスを利用することができることを指す。交通のシームレス化とは、複数の交通手段の接続性を改良することを言う。

※バスロケ（バスロケーションシステム）：GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコン等に情報提供するシステム。

※MaaS（マース）：Mobility as a Service の略。ITを用いてあらゆる公共交通機関を結びつけ、効率よく、かつ便利に使えるようにする概念及びシステム。

目標③ 公共交通の利用を促進する

施策	概要	実施主体	市担当課	実施内容
10. 高校生の送迎交通からの交通手段転換				
送迎交通の抑制に向けて、小学校、中学校、高校と連携し、モビリティ・マネジメント（MM）※を展開する。				
	10-1. 学校と連携した高校生MMの展開	沖縄県教育委員会、宜野湾市、バス事業者	都市計画課	検討、実施
	10-2. 学校と連携した小中学生MMの展開	宜野湾市、宜野湾市教育委員会、バス事業者	教育委員会指導課、都市計画課	検討、実施
11. 西普天間住宅地区周辺の渋滞対策				
さらなる渋滞が想定される西普天間住宅地区周辺の渋滞問題に対して、県や琉球大学と協働して、交通手段の転換や需要の時間的分散、自動車交通量の発生軽減など多面的な対策を検討する。				
	11-1. 市職員の公共交通利用促進・時差通勤	宜野湾市	人事課、環境対策課	検討、実施
	11-2. 西普天間住宅地区における多様な交通サービス環境の形成検討	琉球大学、宜野湾市	都市計画課	検討
	11-3. 西普天間交通対策WT※	宜野湾市、沖縄県、琉球大学	都市計画課、基地跡地推進課	開催

目標④ 人と地球にやさしい交通体系を構築する

施策	概要	実施主体	市担当課	実施内容
12. 環境に配慮した車両の充実、環境配慮型交通行動への推進				
環境面の持続可能な公共交通体系の実現に向けて、公共交通の車両や公用車の低炭素化、市民向けのモビリティ・マネジメント※を推進する				
	12-1. バス、タクシーへのエコカー導入促進と公用車へのエコカー導入促進	沖縄県、宜野湾市、交通事業者	総務課、環境対策課	検討、推進
	12-2. 市民向けモビリティ・マネジメント※の推進	宜野湾市、交通事業者	都市計画課、環境対策課	実施
	12-3. 市職員の公共交通利用促進・時差通勤（再掲）	宜野湾市	人事課、環境対策課	検討、実施
13. 歩くライフスタイルの普及拡大				
市内の交通渋滞緩和や市民の肥満化・フレイル予防といった交通面、福祉面の課題解消に向けて、健康増進と公共交通利用促進の包括的な取組みを推進する。				
	13-1. 歩くライフスタイルの普及拡大（西普天間住宅地区など）	宜野湾市	健康増進課、都市計画課	検討、実施

※モビリティ・マネジメント（MM）： 多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ（移動状況）が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取組み。

※西普天間交通対策 WT： 琉球大学病院等の移転による影響や関連事業等も踏まえながら、地域のために必要な交通対策について調整し、その進捗確認等を行うことを目的として設置したワーキングチーム。琉球大学関係者と関係行政機関（沖縄県、宜野湾市）を主体に構成。